

# 事務局報

2021年5月27日発行

発行／銀行業務検定協会・事務局 発行責任者／勅使河原 豊  
〒162-8464 東京都新宿区市谷本村町3番21号 電話 (03)3267-4821(代) ホームページ <http://www.kenteishiken.gr.jp/>

## 〈第148回〉銀行業務検定試験成績発表

### 相続アドバイザー2級、 経営支援アドバイザー2級が好成績

去る2021年3月7日(日)に実施した第148回銀行業務検定試験の成績結果がまとまりましたので、以下のとおり報告します。

#### ■法務3級(特別実施)

「法務3級」の成績結果は、〔表-1〕のとおりです。

応募者数10,376名中受験者は9,321名で、合格者は2,996名でした。合格率は32.14%、平均点は51.19点で、ともに前を下回りました。

最高点は100点で、根本香奈さん(桐生信用金庫)が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〈融資〉の分野では〔問-12〕割引手形の買戻請求権、〔問-15〕経営者保証に関するガイドライン、〔問-17〕根抵当権の元本の確定、〔問-18〕第三者の弁済、〔問-22〕相殺、〔問-25〕抵当権の実行、の6問、〈決済〉の分野では〔問-30〕手形・小切手の有価証券としての性質、〔問-31〕小切手

の振出、〔問-35〕手形・小切手の消滅時効、の3問、〈銀行取引関連法〉の分野では〔問-47〕株式会社の機関、の1問で、計10問でした。

このうち〔問-30〕は、手形・小切手の法的性質を問うものでした。手形には、銀行の信用供与の道具としての機能があり、この機能を手形の「信用証券」性といいます。他方、小切手は、常に一覧払とされ、呈示によりただちに支払がなされます。小切手では、支払人による引受・裏書・保証が認められておらず、支払呈示期間も振出日から10日間です。

基本的な知識として、正確に理解しておくことが求められます。

他方、〈預金〉分野では、正解率が30%以下となった問題はなく、好成績でした。

#### ■財務3級

「財務3級」の成績結果は、〔表-2〕のとおりです。

応募者数10,656名中受験者は9,339名で、合格者は3,880名でした。合格率は41.55%、平均点は53.94点と、ともに前を上回りました。

最高点は98点で、高久泰地さん(足利銀行)、溝口晴子さん(三井住友銀行)、島田誠也さん(オリックス)、佐々木宗也さん、生駒祐衣さん、早坂基広さん、山田良一さん(以上、個人申込)の

#### 主要項目

- ▶ 〈第148回〉銀行業務検定試験成績発表
- ▶ 団体賞受賞団体等一覧
- ▶ 〈第149回〉銀行業務検定試験／〈第53回〉コンプライアンス・オフィサー認定試験応募状況
- ▶ 申込団体別応募状況
- ▶ 10月試験のご案内

7名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－8〕定率法による減価償却費の算出、〔問－14〕貸借対照表に計上される社債の額、〔問－17〕連結貸借対照表上の純資産の額の算出、〔問－21〕有価証券の決算整理仕訳、〔問－26〕減損損失の額の算出、〔問－29〕為替差損益の額の算出、〔問－39〕労働分配率、の7問でした。

〔問－8〕は、毎年償却をしたときに、機械装置の減価償却費よりも償却保証額（取得価額×保証率）のほうが大きくなった場合、改定償却率を用いて算出する点がポイントとなりました。

〔問－21〕は、洗替法にもとづくため、前期末時価ではなく、取得原価と当期末時価との差額をその他有価証券評価差額金として貸方計上することになりますが、前期末時価で算出した受験者が多くみられました。

〔問－39〕は、労働分配率の算出の際、分子の

人件費には、賃金や給料手当のほか、福利厚生費などが含まれることを理解していたかがポイントとなりました。

本種目では、基本的な項目を中心に、応用的な出題形式にも対応できる学習が求められます。

## 税務2級

「税務2級」の成績結果は、〔表－3〕のとおりです。

応募者数5,212名中受験者は4,098名で、合格者は1,069名でした。合格率は26.09%、平均点は43.73点と、ともに前回は上回りました。

最高点は97点で、左口愛さん（浜松いわた信用金庫）が個人最優秀賞を受賞されました。

10題の問題のうち平均点が最も低かったものは、〔問題－6〕代償分割を行った場合の相続税の総額の計算で、3.51点でした。また、平均点が最も高かったものは、〔問題－10〕法人税額の計

〔表－1〕法務3級・業態別一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	192	2,563	143	942	3,202	586	1,267	508	7	0	30	936	10,376
応募比率	1.85	24.70	1.38	9.08	30.86	5.65	12.21	4.90	0.07	0.00	0.29	9.02	100.00
受験者数	169	2,332	116	829	2,952	530	1,175	448	6	0	25	739	9,321
受験率	88.02	90.99	81.12	88.00	92.19	90.44	92.74	88.19	85.71	0.00	83.33	78.95	89.83
合格者数	93	832	46	244	883	102	336	135	5	0	13	307	2,996
合格率	55.03	35.68	39.66	29.43	29.91	19.25	28.60	30.13	83.33	0.00	52.00	41.54	32.14
平均点	60.14	52.58	55.81	50.54	50.55	46.43	48.45	49.94	73.33	0.00	57.12	55.50	51.19
年齢	25.6	27.3	29.4	27.8	28.2	29.6	33.9	29.7	36.3	0.0	38.6	30.1	29.0
勤続年数	2.0	3.5	4.9	4.4	5.2	6.7	10.5	4.0	12.0	0.0	12.5	6.5	5.3

〔表－2〕財務3級・業態別一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	304	2,995	140	1,008	3,294	497	514	24	138	14	64	1,664	10,656
応募比率	2.85	28.11	1.31	9.46	30.91	4.66	4.82	0.23	1.30	0.13	0.60	15.62	100.00
受験者数	280	2,686	102	868	2,963	432	474	20	114	13	62	1,325	9,339
受験率	92.11	89.68	72.86	86.11	89.95	86.92	92.22	83.33	82.61	92.86	96.88	79.63	87.64
合格者数	198	1,127	41	330	1,007	125	210	9	38	9	20	766	3,880
合格率	70.71	41.96	40.20	38.02	33.99	28.94	44.30	45.00	33.33	69.23	32.26	57.81	41.55
平均点	67.16	54.08	55.94	52.29	50.59	48.33	54.45	55.00	47.98	68.15	51.23	61.43	53.94
年齢	26.8	27.4	30.4	27.8	29.0	31.0	33.4	32.3	31.6	24.1	39.3	30.4	29.0
勤続年数	3.2	4.0	5.9	4.9	6.5	8.0	10.3	6.7	7.1	0.3	14.9	7.2	5.9

算で、5.79点でした。

本種目には記述問題がありますが、用語の使い方を誤っている解答が多くみられました。とくに〔問題－2〕において「生計を一にする」が正しく書けていないもの、〔問題－3〕において「収入」と「所得」を混同しているもの、〔問題－9〕において「損金算入」とすべきところを「費用計上」としているものなどが多く見受けられました。言葉が違えば意味が違ってしまいますので、正確に記述できるように学習することが重要です。

### ■ 税務3級

「税務3級」の成績結果は、〔表－4〕のとおりです。

応募者数8,847名中受験者は7,744名で、合格者は3,111名でした。合格率は40.17%、平均点は53.34点で、ともに前回は下回りました。

最高点は100点で、山口亮奈さん（城南信用金

庫）、嶋田侑未さん（和歌山県信用農業協同組合連合会）の2名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〈所得税〉分野では〔問－6〕不動産所得の必要経費、〔問－9〕譲渡所得の金額の計算方法、〔問－13〕事業所得の総収入金額、の3問、〈相続税・贈与税〉分野では〔問－34〕土地・家屋の評価、〔問－38〕暦年課税による贈与税額の計算、の2問、〈法人税〉分野では〔問－40〕受取配当金の益金不算入、〔問－41〕減価償却資産の法定償却方法、の2問で、計7問でした。

〔問－6〕では、「土地の取得にかかる借入金利子は損益通算の対象にならない」ことから、「不動産の取得にかかる借入金利子は必要経費に算入されない」と混同した受験者が多いのではないかと推測されます。必要経費には算入されるので注意が必要です。

〔表－3〕 税務2級・業態別一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	31	2,611	225	311	1,157	56	190	18	1	0	3	609	5,212
応募比率	0.59	50.10	4.32	5.97	22.20	1.07	3.65	0.35	0.02	0.00	0.06	11.68	100.00
受験者数	20	2,141	170	236	943	46	163	16	1	0	1	361	4,098
受験率	64.52	82.00	75.56	75.88	81.50	82.14	85.79	88.89	100.00	0.00	33.33	59.28	78.63
合格者数	4	541	58	54	184	9	66	7	1	0	0	145	1,069
合格率	20.00	25.27	34.12	22.88	19.51	19.57	40.49	43.75	100.00	0.00	0.00	40.17	26.09
平均点	37.35	43.88	45.67	41.33	39.93	37.11	52.08	52.88	60.00	0.00	35.00	50.39	43.73
年齢	31.4	31.1	31.2	35.1	37.1	38.1	37.6	33.4	36.0	0.0	45.0	35.1	33.4
勤続年数	7.7	7.7	6.6	11.6	13.9	15.9	13.2	11.5	11.0	0.0	20.0	10.7	9.9

〔表－4〕 税務3級・業態別一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	133	2,446	223	593	2,392	361	1,290	110	78	13	69	1,139	8,847
応募比率	1.50	27.65	2.52	6.70	27.04	4.08	14.58	1.24	0.88	0.15	0.78	12.87	100.00
受験者数	116	2,137	178	505	2,179	322	1,189	98	53	11	58	898	7,744
受験率	87.22	87.37	79.82	85.16	91.10	89.20	92.17	89.09	67.95	84.62	84.06	78.84	87.53
合格者数	76	894	107	176	779	94	420	45	23	3	29	465	3,111
合格率	65.52	41.83	60.11	34.85	35.75	29.19	35.32	45.92	43.40	27.27	50.00	51.78	40.17
平均点	63.31	54.34	61.09	51.00	51.28	48.13	50.90	55.24	53.06	52.18	59.34	58.97	53.34
年齢	26.1	27.2	26.3	29.6	29.8	32.2	33.4	29.3	35.1	27.8	36.8	30.3	29.7
勤続年数	2.2	3.7	2.9	6.7	6.8	9.3	10.0	3.5	9.4	0.8	12.3	5.7	6.1

〔問－38〕は頻出テーマですが、毎回正解率が低くなっています。贈与者と受贈者の関係が夫婦なのか親子なのか、年齢は何歳なのか、贈与財産は何なのか、で使用する税率や適用される特例が異なります。他の事例問題にも共通することですが、過去問題を学習する際に、事例の条件を整理して理解することが、正確な知識の習得につながると考えられます。

**税務4級**

「税務4級」の成績結果は、〔表－5〕のとおりです。

応募者数1,993名中受験者は1,884名で、合格者は1,354名でした。合格率は71.87%、平均点は67.30点で、ともに前回は上回りました。

最高点は98点で、松本康裕さん（播州信用金庫）、西谷和男さん（播州信用金庫）の2名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〈所得税〉分野の〔問－12〕iDeCo、の1問でした。

今回は全体的に正解率が高く、よく学習されていることがうかがえました。本種目は、税務分野の基礎力を問うものです。本種目で学んだことに、各制度の要件や留意事項の知識を加えることで税務3級にも対応できますので、次の学習に役立ててください。

**外国為替2級**

「外国為替2級」の成績結果は、〔表－6〕のとおりです。

応募者数930名中受験者は698名で、合格者は191名でした。合格率は27.36%、平均点は49.79点と、合格率は前回は下回りましたが、平均点は前回は上回りました。

最高点は82点で、三原優佳さん（広島銀行）、齋藤優作さん（個人申込）の2名が個人最優秀賞

〔表－5〕 税務4級・業態別一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	1	44	0	160	972	208	453	36	1	0	0	118	1,993
応募比率	0.05	2.21	0.00	8.03	48.77	10.44	22.73	1.81	0.05	0.00	0.00	5.92	100.00
受験者数	1	36	0	146	933	197	436	32	1	0	0	102	1,884
受験率	100.00	81.82	0.00	91.25	95.99	94.71	96.25	88.89	100.00	0.00	0.00	86.44	94.53
合格者数	1	21	0	83	704	133	299	27	1	0	0	85	1,354
合格率	100.00	58.33	0.00	56.85	75.46	67.51	68.58	84.38	100.00	0.00	0.00	83.33	71.87
平均点	82.00	64.11	0.00	60.33	68.62	65.49	66.56	71.69	80.00	0.00	0.00	71.25	67.30
年齢	43.0	22.6	0.0	24.1	25.9	24.4	26.8	35.7	52.0	0.0	0.0	31.1	26.2
勤続年数	0.0	1.3	0.0	1.1	3.6	1.8	3.8	3.0	28.0	0.0	0.0	7.3	3.4

〔表－6〕 外国為替2級・業態別一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	131	361	0	27	39	0	0	0	0	0	0	372	930
応募比率	14.09	38.82	0.00	2.90	4.19	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	40.00	100.00
受験者数	99	303	0	23	33	0	0	0	0	0	0	240	698
受験率	75.57	83.93	0.00	85.19	84.62	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	64.52	75.05
合格者数	37	67	0	3	9	0	0	0	0	0	0	75	191
合格率	37.37	22.11	0.00	13.04	27.27	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	31.25	27.36
平均点	53.46	46.96	0.00	46.87	46.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	52.65	49.79
年齢	28.8	33.9	0.0	35.2	39.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	32.7	33.1
勤続年数	4.8	10.2	0.0	11.1	15.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	8.9

を受賞されました。

最も平均点が低い問題は、〔問題－8〕仕向送金で、平均点は3.04点でした。

問題文に対して、求められる内容と趣旨の異なる解答や答案を作成する際に記述すべき内容を十分に書き示していない解答が散見されました。

確かな知識をインプットすることも重要ですが、その内容をしっかり書き示すことができるよう、解答用紙にアウトプットする能力を身に付けることが求められます。

### 外国為替3級

「外国為替3級」の成績結果は、〔表－7〕のとおりです。

応募者数2,718名中受験者は2,332名で、合格者は1,395名でした。合格率は59.82%、平均点は61.57点と、ともに前を下回りました。

最高点は100点で、八須朋子さん（きらぼし銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－8〕輸入貿易管理制度、〔問－20〕安全保障貿易管理、〔問－36〕支払又は支払の受領に関する報告書、〔問－38〕外国送金取引規定、〔問－45〕国際金融取引市場、の5問でした。

前回に比べ、平均点・合格率ともにやや低下しました。しかしながら、過去問で頻出の論点については、問題解説集をしっかりと学習された受験者が多かったようで、平均点は高くなりました。

外国為替業務の基本を理解し、実務を正確に把

握することが重要です。

### 経営支援アドバイザー2級

「経営支援アドバイザー2級」の成績結果は、〔表－8〕のとおりです。

応募者数1,507名中受験者は1,317名で、合格者は680名でした。合格率は51.63%、平均点は56.69点と、ともに前を上回りました。

最高点は88点で、澤江健勇さん（山陰合同銀行）、井戸優人さん（個人申込）の2名が個人最優秀賞を受賞されました。

〈基本知識（択一式）〉において、正解率が30%以下となった問題は、〔問－25〕ABLガイドライン、の1問でした。択一式の平均点は33点台でした。高得点を目指すには、択一式で確実に得点を重ねることがポイントですが、今回は択一式の平均点が前回より3点強高かったことが、高い平均点・合格率につながっています。

また、〈技能・応用（記述式）〉においても5問の平均点が5点台となり、こちらも前を上回りました。基本知識とともに、高得点となっています。

答案の作成にあたっては「出題の意図を的確に汲んだ内容とすること」を心がけてください。設定事例を踏まえず一般論で書かれた答案や実現可能性の低い提案等といった解答は、受験者ご自身の実感よりも得点が伸びない要因となることがあります。

本種目の受験により、これまでの経験・学習を

〔表－7〕 外国為替3級・業態別一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	702	960	67	63	244	8	6	1	2	0	0	665	2,718
応募比率	25.83	35.32	2.47	2.32	8.98	0.29	0.22	0.04	0.07	0.00	0.00	24.47	100.00
受験者数	652	821	51	54	212	8	4	0	0	0	0	530	2,332
受 験 率	92.88	85.52	76.12	85.71	86.89	100.00	66.67	0.00	0.00	0.00	0.00	79.70	85.80
合格者数	511	397	27	32	94	3	3	0	0	0	0	328	1,395
合 格 率	78.37	48.36	52.94	59.26	44.34	37.50	75.00	0.00	0.00	0.00	0.00	61.89	59.82
平 均 点	67.93	57.80	59.45	62.59	55.65	51.25	70.00	0.00	0.00	0.00	0.00	62.14	61.57
年 齢	25.2	30.3	32.4	31.7	36.0	34.3	42.0	0.0	0.0	0.0	0.0	29.0	29.2
勤続年数	1.6	7.3	9.1	8.9	12.9	14.8	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.6	5.7

得点という形で表すことができたことで、得手不得手を認識する機会ともなります。不得手な分野を克服され、さらにステップアップしていかれるよう祈念します。

### ■融資管理3級

「融資管理3級」の成績結果は〔表-9〕のとおりです。

応募者数2,401名中受験者は2,177名で、合格者は1,034名でした。合格率は47.50%、平均点は57.31点と、ともに前回は上回りました。

最高点は98点で、清田陽介さん（個人申込）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問-18〕暴力団排除条項における融資取引の管理、〔問-20〕本旨弁済、〔問-23〕相殺、〔問-24〕債権譲渡の対抗要件、〔問-43〕第三取得者がある担保不動産、〔問-46〕物上代位と第三債務者の対

応、〔問-47〕金銭債権の差押え、の7問でした。

基本的な出題テーマであっても、一步踏み込んだ知識を求める問題や、学習をするうえで盲点になりがちな点を問う問題について、正解率が低い傾向がうかがわれました。確実に得点を得るためには、通り一遍の学習ではなく、できる限り深く知識を習得することが肝要です。

### ■年金アドバイザー2級

「年金アドバイザー2級」の成績結果は、〔表-10〕のとおりです。

応募者数1,533名中受験者は1,239名で、合格者は271名でした。合格率は21.87%、平均点は43.28点と、ともに前回と同水準でした。

最高点は82点で、松村勇太さん（大阪信用金庫）、山田祐基子さん（個人申込）の2名が個人最優秀賞を受賞されました。

平均点が3点以下の問題はなく、まんべんなく

〔表-8〕経営支援アドバイザー2級・業態別一覧表（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	39	614	0	143	413	77	9	0	0	0	0	212	1,507
応募比率	2.59	40.74	0.00	9.49	27.41	5.11	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	14.07	100.00
受験者数	36	549	0	125	364	69	9	0	0	0	0	165	1,317
受験率	92.31	89.41	0.00	87.41	88.14	89.61	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	77.83	87.39
合格者数	31	326	0	67	138	18	8	0	0	0	0	92	680
合格率	86.11	59.38	0.00	53.60	37.91	26.09	88.89	0.00	0.00	0.00	0.00	55.76	51.63
平均点	68.89	61.51	0.00	60.43	56.21	52.39	68.00	0.00	0.00	0.00	0.00	61.35	59.69
年齢	32.3	35.7	0.0	38.6	38.1	42.8	39.8	0.0	0.0	0.0	0.0	38.1	37.3
勤続年数	9.0	12.5	0.0	14.9	15.0	19.8	18.6	0.0	0.0	0.0	0.0	12.6	13.8

〔表-9〕融資管理3級・業態別一覧表（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	89	825	3	171	617	147	194	25	2	0	1	327	2,401
応募比率	3.71	34.36	0.12	7.12	25.70	6.12	8.08	1.04	0.08	0.00	0.04	13.62	100.00
受験者数	83	761	3	146	571	139	181	23	2	0	1	267	2,177
受験率	93.26	92.24	100.00	85.38	92.54	94.56	93.30	92.00	100.00	0.00	100.00	81.65	90.67
合格者数	62	379	3	51	251	42	82	9	2	0	1	152	1,034
合格率	74.70	49.80	100.00	34.93	43.96	30.22	45.30	39.13	100.00	0.00	100.00	56.93	47.50
平均点	67.45	58.12	76.00	53.19	55.71	51.47	56.53	53.74	74.00	0.00	66.00	61.06	57.31
年齢	31.5	32.6	37.7	35.5	37.6	39.7	39.7	35.6	38.5	0.0	51.0	38.5	35.9
勤続年数	8.1	9.4	14.7	12.4	14.3	15.6	16.4	11.8	29.0	0.0	32.0	12.1	12.1

得点されていました。その中で最も平均点が低かったのは〔問題－8〕企業年金でした。本間は、簡易型確定拠出年金と中小事業主掛金納付制度に関する空欄補充式、個人型確定拠出年金に関する“間違いさがし”から構成されています。

前者・後者とも、まったく記述できていないものは少なかったものの、完璧に記述できているものはほとんどありませんでした。公的年金という枠組みからはやや外れるテーマであるためか、受験者の苦手な分野かもしれません。しかし、豊かな老後を送るためのアドバイスのひとつとして重要ですから、しっかりと知識を身に付けていただきたいと思います。

### 年金アドバイザー3級

「年金アドバイザー3級」の成績結果は、〔表－11〕のとおりです。

応募者数6,819名中受験者は6,023名で、合格

者は2,310名でした。合格率は38.35%、平均点は51.15点と、ともに前回は下回りました。

最高点は100点で、松本愛美さん（個人申込）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率30%以下の問題は、〔問－12〕老齢基礎年金の合算対象期間、〔問－30〕最近の年金法改正、〔問－35〕老齢厚生年金の年金額の計算、〔問－37〕60歳台前半の在職老齢年金、〔問－42〕障害給付、〔問－48〕健康保険の任意継続被保険者、の6問でした。

〔問－12〕は定番のテーマですが、厚生年金保険の脱退手当金について問うたため、難しい問題であったといえます。

〔問－30〕は、令和2年6月公布の年金制度改正法に関する問題で、過去問からは学習できないものの、問題解説集に解説を掲載していることから、対策は可能な問題でした。

〔問－35〕は、正しい計算式を選ぶ問題として

〔表－10〕年金アドバイザー2級・業態別一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	7	105	6	20	98	13	85	18	1	0	86	1,094	1,533
応募比率	0.46	6.85	0.39	1.30	6.39	0.85	5.54	1.17	0.07	0.00	5.61	71.36	100.00
受験者数	4	88	6	15	87	9	78	15	0	0	74	863	1,239
受験率	57.14	83.81	100.00	75.00	88.78	69.23	91.76	83.33	0.00	0.00	86.05	78.88	80.82
合格者数	1	5	1	1	14	2	20	2	0	0	15	210	271
合格率	25.00	5.68	16.67	6.67	16.09	22.22	25.64	13.33	0.00	0.00	20.27	24.33	21.87
平均点	43.75	30.88	32.33	24.20	40.17	35.67	44.23	33.33	0.00	0.00	44.70	45.30	43.28
年齢	38.3	40.5	45.7	48.1	43.5	40.2	40.0	47.5	0.0	0.0	43.7	49.0	47.0
勤続年数	14.0	16.7	25.2	18.0	18.1	16.8	15.6	19.5	0.0	0.0	19.4	19.5	18.7

〔表－11〕年金アドバイザー3級・業態別一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	18	343	7	88	961	259	1,203	38	39	0	1,921	1,942	6,819
応募比率	0.26	5.03	0.10	1.29	14.09	3.80	17.64	0.56	0.57	0.00	28.17	28.48	100.00
受験者数	12	309	5	78	867	233	1,125	35	24	0	1,748	1,587	6,023
受験率	66.67	90.09	71.43	88.64	90.22	89.96	93.52	92.11	61.54	0.00	90.99	81.72	88.33
合格者数	6	119	3	30	246	47	304	14	13	0	686	842	2,310
合格率	50.00	38.51	60.00	38.46	28.37	20.17	27.02	40.00	54.17	0.00	39.24	53.06	38.35
平均点	52.00	50.71	53.60	52.31	46.70	43.42	44.96	51.20	61.08	0.00	51.10	59.03	51.15
年齢	38.5	34.6	36.2	34.8	32.9	32.4	33.0	36.4	39.8	0.0	40.0	42.8	37.7
勤続年数	11.2	10.5	8.0	11.3	10.6	10.8	9.2	9.7	14.1	0.0	16.4	14.6	12.9

出題していたところは好成績でしたが、計算結果を出題するようになり、正解率が下がっています。2級試験の受験を考えている方は、年金額を算出することに慣れていただきたいと思います。

〔問－37〕は、難度の高い問題で、今回も低調な結果となりました。

〔問－42〕は、定義を丸暗記しているだけでは正解できないもので、事例に即した応用力を試す問題でした。よって、難度の高い問題であったといえます。

〔問－48〕は、定番テーマかつ問うている内容も、過去問に近いものであったため、意外な結果となりました。

### ■ 年金アドバイザー4級

「年金アドバイザー4級」の成績結果は、〔表－12〕のとおりです。

応募者数1,293名中受験者は1,208名で、合格者は803名でした。合格率は66.47%、平均点は65.57点と、ともに前回は上回りました。

最高点は98点で、堀和則さん、河内直樹さん（以上、個人申込）の2名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率40%以下の問題は、〔問－5〕合算対象期間、〔問－18〕高年齢求職者給付金、〔問－26〕確定拠出年金、〔問－27〕介護保険、〔問－30〕年金生活者支援給付金、〔問－32〕老齢基礎年金の繰上げ・繰下げ、の6問でした。

このうち、〔問－18〕と〔問－30〕は初出のテ

マで難度が高かったといえますが、他はやや意外な結果でした。

### ■ 投資信託2級

「投資信託2級」の成績結果は、〔表－13〕のとおりです。

応募者数597名中受験者は460名で、合格者は93名でした。合格率は20.22%、平均点は43.55点と、前回よりも高い結果となりました。

最高点は82点で、山本公嗣さん（ゆうちょ銀行鳥取店）、阿部哲也さん（個人申込）の2名が個人最優秀賞を受賞されました。

問題別にみると平均点が3点以下となった問題は、〔問題－3〕為替ヘッジ、〔問題－9〕個人投資家の投資信託税制、の2題でした。投資信託税制については受取金額にも関係する知識ですので、十分な理解が求められます。

一方、平均点が5点を越えた問題は、〔問題－1〕投資信託の目論見書、〔問題－8〕追加型株式投資信託の購入と換金、〔問題－10〕証券投資指標の3問でした。

### ■ 投資信託3級

「投資信託3級」の成績結果は、〔表－14〕のとおりです。

応募者数3,392名中受験者は3,078名で、合格者は1,745名でした。合格率は56.69%、平均点は59.82点と、ともに前回は上回りました。

最高点は92点で、池田朋代さん（三井住友信

〔表－12〕 年金アドバイザー4級・業態別一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	0	55	0	38	643	100	301	9	2	0	0	145	1,293
応募比率	0.00	4.25	0.00	2.94	49.73	7.73	23.28	0.70	0.15	0.00	0.00	11.21	100.00
受験者数	0	47	0	38	602	97	285	9	1	0	0	129	1,208
受験率	0.00	85.45	0.00	100.00	93.62	97.00	94.68	100.00	50.00	0.00	0.00	88.97	93.43
合格者数	0	31	0	15	447	58	136	8	1	0	0	107	803
合格率	0.00	65.96	0.00	39.47	74.25	59.79	47.72	88.89	100.00	0.00	0.00	82.95	66.47
平均点	0.00	63.87	0.00	55.00	68.21	61.96	58.44	71.11	76.00	0.00	0.00	75.04	65.57
年齢	0.0	30.3	0.0	29.7	28.8	25.9	30.3	41.4	62.0	0.0	0.0	43.9	30.8
勤続年数	0.0	4.1	0.0	6.9	6.3	2.9	6.5	10.8	43.0	0.0	0.0	15.5	6.8



託銀行)、依田友香里さん(山梨中央銀行)の2名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問-4〕 私募投資信託、〔問-6〕ETF、〔問-27〕経済指標、の3問でした。

これらの問題は投資信託を理解するうえで重要なテーマです。過去にも類題が出題されていますので、問題解説集を用いて知識を見直したり、投資信託関連の情報をチェックしたりすることによって、より実務に役立つ知識を得ることができるとおもいます。

一方、正解率が80%を超えた問題は、〔問-10〕販売会社の役割と特徴、〔問-13〕ファンドの基準価額、〔問-16〕個人投資家の株式投資信託の税金、〔問-24〕投資信託の乗換勧誘、〔問-26〕犯罪収益移転防止法における取引時確認、〔問-45〕投資信託販売の違反行為・禁止行為、〔問-48〕トータルリターン通知制度、の7問でした。

### 相続アドバイザー2級

「相続アドバイザー2級」の成績結果は、〔表-15〕のとおりです。

応募者数2,095名中受験者は1,798名で、合格者は797名でした。合格率は44.33%、平均点は55.02点と、ともに前回は上回りました。

最高点は90点で、倉片英樹さん(三菱UFJ信託銀行)、都筑範明さん(三菱UFJ信託銀行)の2名が個人最優秀賞を受賞されました。

〈四択択一式〉において、正解率が30%以下となった問題は、〔問-7〕遺留分侵害額計算、の1問でした。一方、正解率が80%以上となった問題は、〔問-3〕自筆証書遺言と公正証書遺言、〔問-5〕養子縁組の知識、〔問-10〕定期借地権と相続対策、〔問-19〕相続アドバイスとコンプライアンス、〔問-23〕相続債務の取扱い、の5問でした。

〈記述式〉において、平均点が5点を下回った

〔表-13〕投資信託2級・業態別一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	3	263	19	39	63	1	26	18	2	2	4	157	597
応募比率	0.50	44.05	3.18	6.53	10.55	0.17	4.36	3.02	0.34	0.34	0.67	26.30	100.00
受験者数	2	218	14	32	47	1	22	11	2	0	4	107	460
受 験 率	66.67	82.89	73.68	82.05	74.60	100.00	84.62	61.11	100.00	0.00	100.00	68.15	77.05
合格者数	0	27	7	4	11	0	5	3	0	0	1	35	93
合 格 率	0.00	12.39	50.00	12.50	23.40	0.00	22.73	27.27	0.00	0.00	25.00	32.71	20.22
平均点	39.50	39.94	55.21	39.66	44.13	44.00	44.82	49.00	46.00	0.00	44.50	49.46	43.55
年 齢	28.0	35.0	35.9	38.5	38.6	40.0	39.0	34.5	40.0	0.0	47.0	35.3	36.0
勤続年数	5.0	11.9	11.0	14.6	15.0	16.0	14.4	9.7	17.0	0.0	23.0	8.5	11.8

〔表-14〕投資信託3級・業態別一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	18	1,195	191	182	724	28	416	110	3	37	22	466	3,392
応募比率	0.53	35.23	5.63	5.37	21.34	0.83	12.26	3.24	0.09	1.09	0.65	13.74	100.00
受験者数	18	1,104	164	159	673	25	392	101	1	36	20	385	3,078
受 験 率	100.00	92.38	85.86	87.36	92.96	89.29	94.23	91.82	33.33	97.30	90.91	82.62	90.74
合格者数	11	709	126	77	302	12	184	50	1	19	16	238	1,745
合 格 率	61.11	64.22	76.83	48.43	44.87	48.00	46.94	49.50	100.00	52.78	80.00	61.82	56.69
平均点	60.33	62.90	66.33	57.65	55.49	58.08	55.51	58.00	66.00	60.28	63.10	61.42	59.82
年 齢	29.4	30.7	33.4	32.0	33.9	32.9	37.6	34.9	38.0	29.9	42.9	36.2	33.4
勤続年数	4.8	7.1	10.1	10.0	11.5	8.5	13.7	8.4	15.0	5.9	18.5	11.7	9.8

問題は、〔問題－26〕相続発生時の預貯金の仮払い制度、〔問題－27〕遊休不動産の有効活用、〔問題－28〕生前贈与と財産評価、贈与税額の計算、〔問題－30〕信託の活用によるアドバイス、の4題でした。

解答状況は全般的に良好であり、過去問の学習によるものだけでなく、3級試験の受験の際に学習された基本知識の定着が図られている受験者も多かったように推測されます。

本種目の学習においては、問題解説集による過去問題の出題傾向の把握とともに、3級試験の受験の際に学んだ相続関連法令等諸規則、相続手続きや利用される金融商品等に関する基本的な知識、および相続税・贈与税の税額計算にかかる基本知識とその計算の流れをあらためて整理しておくことが必要です。試験で問われる論点は、顧客に対し説明すべき事項とも重なります。頻出の論点は実務においても役立てられるように理解を深

めておいてください。

### 相続アドバイザー3級

「相続アドバイザー3級」の成績結果は、〔表－16〕のとおりです。

応募者数5,595名中受験者は5,054名で、合格者は1,908名でした。合格率は37.75%、平均点は53.24点と、ともに前回は上回りました。

最高点は90点で、長井幸司さん（日本郵便 東海支社）、梶高明さん（日本郵便 近畿支社）、黒木香里さん（個人申込み）の3名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－12〕相続税・贈与税の課税対象、〔問－15〕相続税の総額の計算、〔問－18〕相続税・贈与税の申告と納付、〔問－28〕当座勘定取引先の死亡、〔問－30〕遺産の名義変更手続き・不動産の相続登記、〔問－37〕遺言信託・遺産整理業務、〔問－40〕

〔表－15〕相続アドバイザー2級・業態別一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 地銀	二 信金	信組	信・ 連 農協	労金	生・ 保 損保	証券	郵政	他団体 個人	全体
応募者数	15	788	28	94	269	35	180	26	3	3	70	584	2,095
応募比率	0.72	37.61	1.34	4.49	12.84	1.67	8.59	1.24	0.14	0.14	3.34	27.88	100.00
受験者数	14	677	23	84	244	30	167	25	1	3	63	467	1,798
受験率	93.33	85.91	82.14	89.36	90.71	85.71	92.78	96.15	33.33	100.00	90.00	79.97	85.82
合格者数	13	259	19	22	101	7	71	9	1	2	31	262	797
合格率	92.86	38.26	82.61	26.19	41.39	23.33	42.51	36.00	100.00	66.67	49.21	56.10	44.33
平均点	67.14	53.04	70.43	49.69	53.12	48.50	54.57	49.24	75.00	60.33	57.02	59.26	55.02
年齢	46.3	40.8	40.5	42.1	44.1	43.1	41.9	41.6	34.0	45.3	47.0	45.2	42.9
勤続年数	18.7	17.4	16.3	17.5	20.9	17.9	17.9	16.4	11.0	17.7	22.8	18.5	18.4

〔表－16〕相続アドバイザー3級・業態別一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 地銀	二 信金	信組	信・ 連 農協	労金	生・ 保 損保	証券	郵政	他団体 個人	全体
応募者数	38	1,078	16	140	627	94	1,012	37	5	6	1,334	1,208	5,595
応募比率	0.68	19.27	0.29	2.50	11.21	1.68	18.09	0.66	0.09	0.11	23.84	21.59	100.00
受験者数	37	975	14	124	577	89	941	33	4	6	1,237	1,017	5,054
受験率	97.37	90.45	87.50	88.57	92.03	94.68	92.98	89.19	80.00	100.00	92.73	84.19	90.33
合格者数	13	377	11	42	183	27	277	9	1	0	544	424	1,908
合格率	35.14	38.67	78.57	33.87	31.72	30.34	29.44	27.27	25.00	0.00	43.98	41.69	37.75
平均点	55.03	53.87	64.43	51.56	52.15	48.38	49.55	49.58	53.00	50.33	55.19	54.82	53.24
年齢	36.2	35.1	37.4	34.8	38.4	36.7	37.6	44.0	49.3	30.8	41.7	41.9	39.0
勤続年数	14.4	11.8	13.1	11.1	15.0	12.2	13.2	16.7	14.0	9.0	18.0	15.2	14.5

後見制度支援信託と後見制度支援預金の取扱い、〔問－45〕夫婦間贈与と生前対策、〔問－46〕生前贈与にかかる納付税額の計算、〔問－47〕受益者連続信託、の10問でした。

一方、正解率が80%以上となった問題は、〔問－26〕外国籍の預金者が死亡した場合の対応、〔問－35〕保険契約と相続、生命保険の活用、〔問－36〕相続アドバイスとコンプライアンス、の3問でした。

解答状況をみると、過去問で頻出の問題や論点については問題解説集や参考書により十分学習していたことがわかれてきましたが、その一方で、今回はとくに改正点や税制に関する出題を苦手とする受験者が多かったようです。

受験に際しては、問題解説集を繰り返して学習するだけでなく、基本書となる参考書・通信講座等を副読本としながら、改正点を含め、基本的な知識の定着を図ってください。

## 試験公告

### 新規実施 社会人ホスピタリティ検定試験のご案内

日本ホスピタリティ検定協会

弊会では、ホスピタリティに関する新たな試験として「社会人ホスピタリティ [基本]・[実践]」の2種目を新規試験として実施することを決定しましたので、ご案内申し上げます。

#### 〈社会人ホスピタリティ [基本]〉

試験方式：全国一斉試験・C B T方式

試験実施日：2021年10月24日(日)・2022年3月6日(日)

※C B T方式は、2021年6月1日(火)より随時実施

試験時間：90分 10:00～11:30

出題形式：三択一式 50問

合格基準：100点満点中70点以上(試験委員会にて最終決定)

出題範囲：ホスピタリティの基本知識と重要性／ホスピタリティ力の向上と対応(ホスピタリティ・マナーのポイント、ホスピタリティ・コミュニケーションのポイント、ビジネスにおけるホスピタリティのポイント)

#### 〈社会人ホスピタリティ [実践]〉

試験方式：全国一斉試験・C B T方式

試験実施日：2021年10月24日(日)・2022年3月6日(日)

※C B T方式は、2021年6月1日(火)より随時実施

試験時間：120分 13:30～15:30

出題形式：四択一式 50問(基本知識：40問、技能・応用：5事例10問)

合格基準：100点満点中70点以上(試験委員会にて最終決定)

出題範囲：ホスピタリティの発揮と重要性／ホスピタリティの実践的活用と応用(ホスピタリティ・マナーの実践、ホスピタリティ・コミュニケーションの実践、ビジネスにおけるホスピタリティの実践)

以上